



やまびこ
2024

3

ソアン：広島空港特別展示
(3/4(月)まで広島空港出発ロビーで展示されました)

2023年度学校目標：「Walk in Love as Children of Light」(光の子として愛に歩みなさい)

「試練による鍛錬」

卒業生の皆さん、15年の人生を振り返ってみると、楽しいことと辛いことの繰り返しだったと思います。もしかしたら、楽しいことよりも辛いことの方が多かったかもしれません。人は誰でも、全てを投げ出して逃げてしまいたいこともあります。聖書を読んでいると、人がそのような状況になることを試練と言われることがあります。

旧約聖書に記されているモーセとイスラエル人の出エジプトの話を皆さんはよく知っていると思います。エジプトの奴隷であったイスラエル人が解放されて、神様が居住地として備えてくださった今のイスラエル、カナンを目指して旅を続けます。その旅は40年間かかりました。今のエジプトの首都カイロからイスラエルの首都エルサレムの距離を測ると728キロほどとされています。この広島から東京のちょっと東までの距離です。徒歩で約148時間、つまり6日間ほどで着くそうです。この時間は、現在の道路を使用していますから、当時はもっと掛かったでしょう。大集団で、老人、婦人、そして子供も一緒だったことを考えてもです。それにしても、40年はかかりすぎです。神様は、この40年の間、イスラエル人に多くの試練を与えました。目的地に着くのがここまで延ばされて、様々な試練から「神様が導いておられるなら、どうしてこんなことがわたしたちに起こるのだろう」とイスラエルの人々は神様に不平不満を言い、神様の教えに背いたのです。しかし、神様はイスラエル人に憐れみ深い愛情を持って、その試練は必要なものであると教えられたのです。

私たち学校の母体であるセブンスデー・アドベンチスト教会をつくるのに携わったエレン・ホワイトは、私達に起こる試練についてこのように解説をしています。

「神が導いておられるからこそ、こうしたことが彼らの上に起こるのである。試練や困難は、神がお選びになった鍛錬の手段であって、神が定められた成功の条件である。…それは、その人自身知らなかった自己の欠陥を発見するためである。神はこうした欠陥を改める機会を与え、神の働きに適する機会を与えられる。そして清められるためにしばしば、火のような試練が彼らを襲うことを許されるのである。」(エレン・G・ホワイト「ミニストリーオブヒーリング2005」478p)

私達が遭う試練は、罪人である私たちに神様が与えられる罰や災難などでは決してなく、鍛錬、つまり訓練であり、私達の欠陥、つまり弱さを見つけるためなのです。

使徒パウロはローマ信徒への手紙にこう記しています。

「あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはずですが。神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていてくださいます。」(新共同訳聖書ローマ10:13)

これから新しい生活が始まってきつと苦しいと感じることがたくさんあることでしょう。それは、神様が許された試練かもしれません。今私たちが生きている時代は、将来を予測するのに困難な不透明な時代と言われています。神様が示してくださった道だと信じて歩んでも、前に進めない時もあることでしょう。その時に上を見上げてみてください。イスラエル人が約束の地カナンに向かって荒野を歩んでいる時に与えられた導き手、雲の柱や火の柱がずっと上にあります。そして、逃れの道へと導いてくださると私は信じています。

また使徒ペテロは言います。

「愛する皆さん。炎のように燃えさかる試練に直面しても、あわてたり、おじけづいたりしてはいけません。ふりかかる試練は、決して思いがけないものでも、異常なものでもないからです。むしろ、その試練によってキリストと苦しみを分かち合えるのですから、喜びなさい。やがてキリストの栄光が現れる時、その栄光を共に受けて、すばらしい喜びを味わうためです。」(JOB ペテロの手紙I 4:12,13)

学校と私達のキリスト教信仰は、イエス様がいつも共にいてくださり、私達を天国に招き入れてくださるためにお迎えに来られることに希望があり、そして喜びが与えられるのです。この希望、喜び、そして神様から受けた愛を多くの方々に届けてください。

(中学校卒業式式辞抜粋) 校長 北林 聡

高 高校2年生修養会 2/5~2/9

今年度の修養会は、この期間を通してお互いの見えない壁を壊すという目標の元、「壁ドンー2年生不思議発見一」というテーマで行いました。スキー講習だけでなくバスレクや休憩時間のそり滑りと雪合戦、宿舎でのレクリエーションなど、様々な場面でみんなが壁を越えて交流している姿は本当に輝いて見えました。特に、私が印象に残っているのはディスカッションです。グループ全員の意見が聞けたり、普段関わらないような人と話せたという意見が沢山あり、ディスカッションは今回のテーマにあったプログラムだったと思います。私は、この修養会は終わりではなく、始まりだと思っています。私たち2年生がこれからもお互いの見えない壁を壊し、成長し続けていけるように祈り、みんなで努力し続けたいです。



(修養会実行委員長)

高 高校1年生SAP 2/6~2/8

SAPとは：三育アドベンチャープログラム、ファシリテーターの方々によるアクティビティや、生徒企画のレクリエーション等を通してチームビルディングを行い、進級に向けて準備する高校1年生のプログラムです。

今年も山口県ではなく広島のカンパスでSAPを行いました。山口に行きたいという声もありましたが、あたえられた場所と時間としてタラントを最大限に活かし、素晴らしいプログラムとなりました。生徒が企画したプログラムでは、色々な問題に悩まされながらも自分たちが持っているものすべてで必死に考え、何度もトライ&エラーを繰り返し、企画しているときにも神様の導きや助け、またお互いのタラントを知り、信頼することができました。



二日目からはファシリテーターの方が来てくださり、「協力」や「チーム」について深く考えさせられました。チームの最適解を見つけそれを納得解にするためにどうしたらいいのか、話し合いの中で何度も意見が割れ、雰囲気が悪くなることもありましたが、このSAP

活動報告

を通してようやく一年生というチームとしてスタートできた気がします。僕たち一年生は「今、分かち合おう。よし！私がやる。よし！切り替えよう。さあ見つけ出そう、僕らの最適解を」という目標を立てました。信頼もチームワークも最適解も4日では出来上がりません。卒業まで、長い時間をかけて僕らの最適解を見つけていきます。
(SAP実行委員長)

中 中学卒業祈禱週 2/11~2/17

2月11日から17日まで、21名の中学3年生による卒業祈禱週が行われました。今年度は例年と比べ、自分の三育での経験を語る証しよりも、聖書の言葉を直接語る説教が多いうように感じました。生徒の感想を紹介します。「僕は今までの3年生のお話を聞いてイエス様の愛や再臨について知れました。イエス様はこのようなダメな人間のために十字架で死なれたこと、そしてイエス様はほくたちに一番良い計画を用意してくださっていることを学びました。」「自分が証する機会、他の人の話を聞く機会が与えられた事に感謝。自分の証を書いていく上で他の皆の説教や証を聞く度に調整を加えたり、書き直したりしていました。たくさんの霊的影響が与えられたことを感謝します。」
(中学チャプレン 齋藤愛輝)



お知らせ(中3・高3以外の方)

- ① 「1学期帰校方法に関する事前アンケート」を同封しています。3月19日(火)が締め切りとなっております。よろしくお願ひいたします。
- ② 2024年度の「春季中間休みの送迎スケジュール」を同封しています。
- ③ 「個人情報の扱いについての変更の申し出受け付けについて」を同封しています。こちらは4月4日(木)が締め切りとなっております。
- ④ 「音楽レッスン及び練習について」を同封しています。契約書も同封しています。1年契約ですので、今年度から引き続き受講される方もご提出ください。締め切りは3月31日(日)です。

Schedule for the Activities

中学校

| | |
|--------|---------------|
| 10日(日) | 第47回卒業式 |
| 11日(月) | 部屋替え |
| 12日(火) | テスト返却、特別作業 |
| 13日(水) | 終業式、帰省 |
| 4日(木) | 在校生帰校、前期始業式 |
| 5日(金) | 進級オリエンテーション |
| 8日(月) | 新入生入寮 |
| 9日(火) | 第48回入学式(中高合同) |
| 10日(水) | 休み明け試験、身体測定 |

高等学校

| | | |
|--------|-----------------|--|
| 3月 | | |
| 11日(月) | 返却授業、HRパーティー | |
| 12日(火) | 返却授業、特別配置労働、表彰式 | |
| 13日(水) | 終業式、帰省 | |
| 4月 | | |
| 4日(木) | 在校生帰校 | |
| 5日(金) | 始業式 | |
| 8日(月) | 新入生入寮 | |
| 9日(火) | 第48回入学式(中高合同) | |

卒業生の皆様
広島三育学院を応援してくださっている皆様

毎月情報配信中!

LINE公式アカウントはじまりました!

の公式LINE

学院の情報やwebマガジンの更新をお届けします!